

資料 4

○ 日本精神科病院協会の提供によるデータ（抽出調査）

分類	病名	下位分類	患者数	月額 医療費(円)	罹病期間
F0	症状性を含む器質性精神障害		674	45,628	9年8月
F1	精神作用物質使用による精神及び行動の障害		654	32,321	10年1月
F2	精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害		2,815	56,715	15年0月
F2		うちデイケア利用有	1,136	113,577	15年8月
		うちデイケア利用無	1,679	18,243	14年11月
F3	気分障害		2,962	23,294	10年1月
F3		うち F31 双極性感情障害	1,174	27,349	13年1月
		うち F33 反復性うつ病性障害	873	21,198	8年11月
		上記以外	915	20,079	8年1月
F4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害		914	20,270	8年7月
F5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群		138	19,495	8年10月
F6	成人の人格及び行動の障害		290	25,643	7年5月
F7	精神遅滞		261	23,023	16年10月
F8	心理的発達の障害		46	20,022	9年8月
F90 ～98	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害		24	19,384	8年2月
F99	特定不能の精神障害		50	26,625	9年1月
G40	てんかん		737	18,713	21年11月
計			9,565	3,4681	12年0月

※ 日本精神科病院協会役員・委員・部会委員の勤務する 129 病院及びその他の会員病院 20 病院を対象に、平成 17 年 1 月分のレセプトを中心に集計したもの。

※ 「医療費」及び「罹病期間」は一人あたり平均値。

※ 「医療費」はレセプトデータによる（単位は円）。「罹病期間」は通院公費負担に係る主治医の診断書による。

資料5

○ 日本精神神経科診療所協会の提供によるデータ（抽出調査）

分類	病名	下位分類	患者数	月額 医療費(円)
F0	症状性を含む器質性精神障害		37	49,060
F1	精神作用物質使用による精神及び行動の障害		100	64,830
F2	精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害		362	59,400
F2		うちデイケア利用有	117	94,900
		うちデイケア利用無	245	42,450
F3	気分障害		677	27,520
F3		うち F31 双極性感情障害	219	25,980
		うち F33 反復性うつ病性障害	250	30,360
		上記以外	208	25,710
F4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害		193	23,950
F5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群		52	25,220
F6	成人の人格及び行動の障害		107	38,250
F7	精神遅滞		46	32,090
F8	心理的発達の障害		25	35,360
F90～98	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害		19	20,740
F99	特定不能の精神障害		1	53,650
G40	てんかん		87	26,680
計			1,706	37,370

※ 「医療費」は一人あたり平均値（単位は円）。

次回の進め方について

- 日本精神科病院協会、日本精神神経科診療所協会等から、さらに詳細なデータの提供(疾病分類毎の医療費分布等)を受けて、精神通院公費関連について高額な医療費負担の額、継続期間等につき評価、検討する。
- 疾病分類の細分化によるデータに基づき、精神通院公費に関連して、以下の項目について評価、検討する。
 - ・高額な医療費負担が発生する患者の割合、継続期間
 - ・各疾病における診断の類似点の有無、医療費負担の分布等